

民放草創期放送音源及び放送劇団関係資料の 収集・整理とアーカイブ化報告

Sound sources and material for CBC and their theatrical
company in the beginning of Japanese commercial broadcastings.

椋山女学園大学文化情報学部教授
飯塚 恵理人
Erito Iizuka

はじめに

2013年度、筆者の所属する「メディアと古典芸能研究会」では、人間学研究センターのプロジェクト研究費に併せて「昭和20～40年代における東海地域民間放送資料の収集・保存」という題目で、公益信託高橋信三記念放送文化振興基金より50万円の助成金を頂いた。これらを用いて今年度行った草創期の民間放送の放送劇団関係資料と放送音源の収集・整理とそのアーカイブ化、その必要性について報告させていただく。

本報告書には、収集した資料のうち、劇団CBCの元劇団員長谷川（舞台名 芹江）敬氏から提供いただいた、登場人物を演じた役者名を記入した劇団CBC舞台公演の写真9枚を掲載する。昭和50年代前半までのラジオ放送は、放送時間に合わせて事前に編集・録音した「放送音源」オープンリールテープを放送時間中に流すのが一般的だった。そしてドラマや音楽などの出演者には、出演の「記録」として放送音源テープを放送する際に「同時録音した」テープが渡されることがあった。このテープを同録テープといい、今日マスターテープが破棄された番組の貴重な記録になっている。今回は東海民放クラブ「音風景の会」の方から提供して頂いた放送音源

テープ・同録テープ・放送参考資料テープ（オープンリールテープ）をデジタル化しCDを作成したので、そのリストを報告する（表1）。これらの資料は椋山女学園大学飯塚研究室のハードディスクおよび「メディアと古典芸能研究会」の会員のハードディスクで保存し、著作権・隣接著作権の消滅した資料については順次椋山女学園大学飯塚研究室ホームページより公開する。また営利目的ではなく学術研究を目的として本会に資料請求した研究者に対してはスカイドライブを用いて資料を共有する。このような形で著作権法を遵守しつつ放送文化・放送芸能研究の基盤固めをしていきたい。

一 民放草創期放送資料の収集・整理・デジタル化の必要性—関係者が元気な今、行わないと散逸の危険性が高い—

オープンリールテープは非常にかさばるため、放送音源テープも参考資料テープも、どの放送局でも再放送の予定のない番組については昭和50年代前半までは処分されることが通例だったと考えられる。民放によっては資料室を設けて保存している会社もあるが、関係者以外には非公開となっている。メディアと古典芸能研究会では「放送がどのような

表1 2013年度放送音源・同録・放送参考資料オープンリーダーデータベースデジタル化リスト

CBC制作のもの		タイトル		CD No.	収録時間	備考
No. 001	ファイルNo.	1971年	CBC深夜放送 レコードマザー ①ヤンリク・オールナイトCBC	CD 001Tr. 1	27' 05"	ヤンリクエスト：山本Pr. 村井秀樹アナ
	No. 001-1	②CBC	Vip ヤング 島津靖雄・秋田まさ子・中村みえ・中島公二・荒川戦一	CD 001Tr. 2	28' 19"	
No. 002	No. 002	昭和44年8月16日(土) 2時～3時10分	オールナイトCBC 2時～3時10分	CD 002	70' 36"	高山支局15周年・高山から 福井アナ
No. 004	No. 004	第8回芸術祭参加 CBCラジオドラマ「日本民謡と民族による放送劇」 堀江繁之助作 吉語り源五郎第1部「雪女」佐藤年演出		CD 004	43' 08"	
No. 006	No. 006-1	オールナイトCBC 木曜日(オリーブ) ビップヤング島津①	S44.1.15	CD 005Tr. 1	49' 22"	①の続 Mより ②の続 Mより
	No. 006-2	オールナイトCBC 木曜日(オリーブ) ビップヤング島津②	S44.1.15	CD 005Tr. 2	30' 28"	
No. 007	No. 007-1	オールナイトCBC 木曜日(オリーブ) ビップヤング島津③	S44.1.15	CD 006	64' 19"	①の続 Mより ②の続 Mより
	No. 007-2	仮称：戦前戦後の流行歌① 仮称：戦前戦後の流行歌②		CD 007	78' 44"	
No. 008	No. 008-2	仮称：戦前戦後の流行歌③		CD 009	24' 21"	
	No. 013	CBCラジオワイド番組 寺内貫太郎・田中和子アナ 音楽夜話		CD 010Tr. 2	11' 11"	
No. 014	No. 014	真夏の夜のジャズ No. 2 伊藤和典 昭和35年9月		CD 023Tr. 1	29' 29"	
No. 015	No. 015	夏まつり No. 1 エコー付 大山水やり保存会 昭和55年8月26日		CD 013Tr. 1	29' 25"	
No. 017	No. 017	第8回文部省芸術祭参加特別番組 日本民謡と民謡による放送劇「昔話源五郎! 第2部《石つぶて》」		CD 013Tr. 2	31' 52"	
No. 020	No. 020	三菱劇場 30.1.9「王様の耳はロバの耳」Dr. 佐藤年		CD 012Tr. 2	33' 22"	
No. 022-0	No. 022-0	平凡アワー スターハイレイトショー 健太郎 Vo. ジロー CBCホール中継		CD 015Tr. 1	28' 54"	1/4 ON AIR
No. 022-1	No. 022-1	初春に歌う・吟詠 ビデオ収録マザー 1973年S40年1月3・4日放送 剣舞・川中島(吟) 寺井雪峰(舞) 笠井童州 S47.12.8 CBC第8スタジオ 収録		CD 017Tr. 1	29' 30"	
No. 022-2	No. 022-2	神州(独吟) 日本吟城流宗家京極吟城		CD 016Tr. 1	29' 00"	1/3 ON AIR
No. 022-3	No. 022-3	寒梅(合吟) 至心流(10名)				
No. 022-4	No. 022-4	甲斐の客中(合吟) 神桜流梅雪会(10名)				1/3 ON AIR
No. 022-5	No. 022-5	曹通吟・金州城(書) 寺井久峰 日本吟城流総本家(10名)				1/4 ON AIR
No. 022-6	No. 022-6	江南の春(合吟) 神桜流桜美会(10名)				1/4 ON AIR
No. 022-7	No. 022-7	宝船(合吟) 清流吟詠会(10名)				1/3 ON AIR
No. 022-8	No. 022-8	曹通吟・富士山(書) 寺井久峰 神桜流梅雪会(10名)				1/3 ON AIR
No. 022-9	No. 022-9	太田道灌(合吟) 岳風流岳仁会(10名)				1/3 ON AIR
No. 022-10	No. 022-10	短歌「母」(独吟) 日本吟城流総本部京玉吟城				1/4 ON AIR
No. 024	No. 024	吟詠53年3月分 CBCラジオ放送の栞 東芝レコード吟詠研究会		CD 016Tr. 2	27' 25"	吹込 S53.2.16(木) 10時
No. 024-01	No. 024	春 夜 蘇東坡 伊藤展佳 神桜流桜美会				3-1 ON AIR
No. 024-02	No. 024	海南行 細川頼之 森洲誠 神桜流桜美会				1-2
No. 024-03	No. 024	春夜洛城に笛を吹く 李白 長谷川美修 神桜流桜美会				4-1
No. 024-04	No. 024	田面庵 良 寛 奥岡翠恵 神桜流桜美会				3-2
No. 024-05	No. 024	春 夜 廣瀬青村 住田薫翠 神桜流桜美会				2-2

No. 024-06	N024	中 庸	元田永孚	成田鳩峰	神桜流桜美会			1-3
No. 024-07	N024	九月十三夜陣中の作	上杉謙信	小林嘉風	日本時吟学院岳風会			2-1
No. 024-08	N024	胡隠君を尋ねる	高 啓	松木一岳	日本時吟学院岳風会			4-3
No. 024-09	N024	九月十三夜陣中の作	上杉謙信	鈴谷昭風	至心会			1-1
No. 024-10	N024	金州城	乃木希典	倉内典城	吟城流築城会			3-3
No. 024-11	N024	千島蒸情	及川小甫	小野田祐風	祐風流			4-2
No. 024-12	N024	金州城	乃木希典	久保田信風	至心流			2-3
No. 025-1	N025-1 1 ~ 15	朝の吟詠	12月分	15曲		CD 024Tr. 1	33' 57"	
No. 025-2	N05-2 1 ~ 12	朝の吟詠	5月分	12曲		CD 024Tr. 2	27' 03"	
No. 025-3	N025-3 1 ~ 19	朝の吟詠	11月分	19曲		CD 025Tr. 1	42' 40"	
No. 025-4	N025-4 1 ~ 12	朝の吟詠	53年1月分	12曲		CD 025Tr. 2	27' 23"	
No. 025-9	N025-9 1 ~ 11	朝の吟詠	53年8月分	11曲		CD 026	26' 54"	
No. 026	N026	朝の吟詠	53年2月分	12曲		CD 021	28' 19"	
No. 027	N027	No. 一8 ①鷹娘 ②狂獅子 ③五月雨 ④助六				CD 20	61' 49"	
No. 028	N028	平凡アワー 6.5 (土) 第1部 18時~19時 大垣市民会館 郷ひろみ他				CD 017Tr.2	22' 57"	
No. 029	N029前半	夏季特別番組から マーラー作曲「復活」77年7月29日 指揮：エリッハ・インバル ノミヒヤエル・ハラース(合唱指揮) フランクフルト放送交響楽団 フランクフルトシンガリアカデミー 1.12.16~17 ヘッセン放送大ホールで収録 ヘッセン放送協会提供テープ				CD 028	34' 13"	
No. 029	N029後半	夏季特別番組から マーラー作曲「復活」77年7月29日 指揮：エリッハ・インバル ノミヒヤエル・ハラース(合唱指揮) フランクフルト放送交響楽団 フランクフルトシンガリアカデミー 1.12.16~17 ヘッセン放送大ホールで収録 ヘッセン放送協会提供テープ				CD 029	48' 59"	
No. 031	N031	戦友・軍歌特集 小沢昭一・ミヤコ蝶々				CD 018	36' 32"	
No. 032	N032	もしもしお元氣ですか 30分番組 大垣ヤナゲン公録分 S50.12.12 板東英二・水谷ミミ				CD 031Tr.1 CD 031Tr.2	35' 23" 15' 14"	花の東・豊年踊り・かっぱばれ踊り 小野小町 眉間山・伊勢音頭

新しい演劇・音楽・芸能を創造したのか」という課題について、「放送関係者の所蔵する写真」「放送台本」「放送音源テープ」などの放送関係の「一次資料」を当時の放送局関係者・放送出演者・古書店等から収集・整理・デジタル化してアーカイブを作成・保存し、このアーカイブを基に放送がどのように芸能文化を変え、創造して行ったのかについて実証的に研究し解明したいと願っている。

しかしながら日本におけるラジオ本放送開始は1925年、テレビ本放送開始でさえ1953年と今から60年以上も前であり、当時の放送局関係者・放送出演者のほとんどが高齢化し、物故された方も多く、資料の意味や価値が正しく周りに認識されていない可能性もある。またオープンリールテープなど現在では個人で容易に再生・保存することが技術的に難しい資料も多いため、まだ関係者が御存命のうちに資料収集依頼を行わないと代替わりの際に散逸する危険性が非常に高く、取り返しのつかないことになると考えられる。

二 劇団CBC舞台公演の公演写真とパンフレット

ここでは今年度に収集・整理・デジタル化し、相山女学園大学および会員のハードディスクに保存した資料のうち、中部日本放送(以下“CBC”)が所有していた劇団の資料を紹介する。在名古屋で日本初の民間放送局であるCBCは以前、「劇団CBC」というラジオドラマの制作のための声優養成を当初の目的とした専用の劇団を持っていた。その後、テレビ放送を開始するとともにその活躍の場はテレビにも広がっていった。それは声優から俳優へという仕事の変化を意味していた。そ

こで劇団CBCでは自らの研修のために、放送番組制作に携わる外に直接舞台に立ち、観客に演技を見せる舞台公演を行うようになった。今回判明しただけで劇団CBCは7回の舞台公演を行っている。その公演の写真及び第4回・第5回・第7回の公演パンフレットのコピー資料を、今回、元劇団員の長谷川(芸名 芹江)敬氏より提供して頂くことが出来たのでデジタル化し、それらについて公演日時、公演場所・場面と俳優・女優名および演じた役名について長谷川氏よりご教示頂けたものについてここで紹介する。

7回の舞台公演の内容は以下の通りである。

第1回公演 真船豊・作 中村精・演出『たつのおとしご』1953年4月 商工館ホール(名古屋駅前)

第2回公演 中江良夫・作 中村精・演出『にしん場』1954年4月23日—24日 商工館ホール(名古屋駅前)

第3回公演 北条秀司・作 中村精・演出『霧の音』1955年4月27日—28日 名古屋市大須 新歌舞伎座

第4回公演 小山祐二・作 中村精・演出『二人だけの舞踏会』1956年4月23—24日 13時・18時 毎日ホール(名古屋駅前毎日会館内)

第5回公演 新藤兼人・作 演出『愛の調べ』1958年7月5日18時、7月6日13時半・18時 3回公演 愛知県文化会館

第6回公演 松山善三・作 演出『しかし罌粟の花は咲いている』1959年12月8日18時、12月9日14時・18時 名鉄ホール(名古屋駅前)

第7回公演 小幡欣治・作 演出『男にしてください』1960年3月20日13時、3月21日

13時・18時 中小企業センターホール

長谷川氏より頂いた資料のうち特に重要なのは、第3回・第4回・5回公演の出演者の顔と名前が分かっている9枚の舞台写真である。そこでこれらの写真を公演ごとに掲載した。(写真1、2—第3回公演時写真、写真3、4、5—第4回公演時写真、写真6、7、8、9—第5回公演時写真)

第3回公演のスタッフと登場人物・配役は、パンフレットによると「演出：中村精 演出助手：しかたしん 舞台監督：伊藤松朗 舞台監督助手：伊藤隆 装置：協同舞台KK 照明：若尾正也 効果：CBC効果団 配役 一彦：大村一平 悠子：松原実智子 つる子：井川則子 正男：芹江敬 高木：朝倉孝太郎：中山民生 おはな：中村嘉奈子 源吉：柳有六郎次：舟木淳 藍子：田中幸子 青江：宮田桂 お住：藤岡ヒロ子 恵美子：松川佳澄若菜：井藤敬子 洋子：森孝子 おたね：高橋かつ子 子守：石川美佐子（CBC子供サークル）春江：中村真弓（CBC子供サークル）（劇団演集賛助出演）津田：浦はじめ 作次郎：石川洋二 岡本：下條春一 山上：辰巳文夫 長田：内山千吉 小倉：竹守鐮平」となる。賛助出演者については当日変更の可能性もあるため、掲載写真には長谷川氏に御教示頂いて登場人物が明らかになった者だけを載せた。

第4回公演のスタッフと登場人物・配役は、パンフレットによると「小山祐士作 二人だけの舞踏会 一四幕 スタッフ 演出：中村精 演出助手：鈴木新一 森孝子 音楽：奥村一 装置：小島一糸 照明：若尾正也 効果：CBC効果団 衣裳：井藤敬子 舞台監督：伊藤松朗 舞台監督助手：松川佳澄 大道具

製作：毎日ホール舞台製作部 キャスト 黒瀬邦彦：柳有 黒瀬利加（その妻）：田中幸子 黒瀬啓介（その息子）：芹江敬 三鼓英水：大村一平 三鼓まり（その妻）：松原実智子 井上一夫：舟木淳 古旗嘉江（その恋人）：井川則子 小松省吉：中村民生 小松徳子（その妻）：高橋かつ子 苅米太市：宮田桂 苅米信子（その長女）：藤岡ひろ子 志田原ツル（その内縁の妻）：中村嘉奈子 牧村善三：朝倉孝（劇団演集賛助出演）執行吏：竹守鐮平 若い男：秀隆司 牧村の子分：伊藤文人 酒屋の店員：下条春一」となる。賛助出演者については前述の通り、登場人物が明らかになった者だけを載せた。

第5回公演のスタッフと登場人物・配役は、パンフレットによると「作・演出：新藤兼人 演出助手：伊藤松朗 張田淳二 装置：島崎隆 照明：柘植貞輝 音楽：松枝孝二 衣装：鈴木鉦子 効果：福島隆 舞台監督：山東迪彦松谷敦 きやすと 松谷澄江：井川則子 父幸政：大村一平 兄 幸一郎：中村民生 妹冷子：松原実智子 弟 新二：芹江敬 幸一郎の妻美子：伊藤満貴子 きよ：藤岡ひろ子その子 一夫：大橋甫 津川正夫：中江研一母 政子：中村かな子 叔父 小川：朝倉孝宗岡：柳有 森野雄二：柴田伸之 母 峰子：森孝子 坂崎：久田信治 萩原：長谷川平八郎 医師A：大塚竜司 医師B：岡本昭一 八百屋主人：鎌田吉三郎 その女房：伊藤友乃 近所の娘A：湯浅純子 近所の娘B：三田村秀子 近所の娘C：稲生とみ子 近所の母：松川佳澄 酒屋の小僧：長塚治 看護婦：井藤敬子 若夫婦：今一 加藤圭子 通行人：原田千代恵 長谷川一枝 村上まり 島愛子 子供達：長谷川文男 中川

真弓 原田佳子 村手順子 羽谷由紀」となる。

さらにこのパンフレットには当時劇団CBCに所属していた劇団員の連名と劇団員相互の自己紹介が載っている。連名を引用すると「大村一平 柳有 中山民生 芹江敬朝 倉孝 田中幸子 中村かな子 藤岡ひろ子 井川則子 松川佳澄 森孝子 松原実智子 井藤敬子 中江研一 柴田伸之 大塚竜司 長谷川平八郎 鎌田吉三郎 岡本昭一 長塚治 今一 久田信治 村上まり 湯浅純子 島愛子 稲生とみ子 伊藤満貴子 三田村秀子 伊藤友乃 原田千代恵 加藤圭子 長谷川一枝」の32名となる。この他にCBC効果団などのスタッフがいたことは明らかになっているが、各公演のパンフレットに記載されているスタッフのうち何名が外部スタッフであるのかは今のところ資料がない。しかし当時の劇団CBCが新藤兼人などの「若手」の作品を積極的に上演しようとしていたことは確かなので、外部の人間が少なからず関わっていたと考えられる。

劇団CBCが舞台公演を行った理由について、第5回公演パンフに劇団員の大村一平が「演技の魅力」という題で下記のように記している。「一昨年の“二人だけの舞踏会”から今回“愛の調べ”を上演する迄の二年三ヶ月、この間にTVと云ふ新しい演技の世界へ入った私達は、演劇に関する新しいジャンルとして、声だけの俳優であったときには、さほど感じなかった演技の基本的な問題が、TVの俳優として矢張り、演劇本来の根本形式である舞台演劇から出発しなければならないことを身体で感じ始めた。だからと云って今度の舞台公演がラジオ、TVの演技の研鑽

をする為と頭から解釈出来ない大切な問題があるのです。では何の為に舞台公演をするのか……その直接の答へにはならないかも知れないが“専門家”と云ふ事から考えて見たい。いい換えればプロとアマとの違いは何処にあるかと云う事だ。……。少くとも私達は、ラジオとTVの俳優であり、それを職業としている以上、“専門家”の意味を職業的と解するならば私達は専門俳優なのです。しかし一方、内職をしながら役者をしている人達が“専門家”である場合もあるとすれば職業的、即ちそれのみで生活していることが専門家の資格とは云えないようだ。ではプロとアマの相違はどこにあるのか。……それは“演技の持つ魅力”にあると思う。専門劇団の芝居を観ている時に、しばしば声が聞こえない場合がある。その場合に声が通らない様なことでは専門家とは云えないように考えるが……そんな物理的・数学的なことではない“或るもの”に対して観客は金を払っている。(中略)ラジオ、TVと違って舞台には直接観客がある。さて、幕が上がった。舞台は暗い。舞台中央に静かにスポットが当たった。一人の女性が、ヴァイオリンを片手に立っている。そして静かに語り始めた。この瞬間から芝居は始まり二幕三幕……そして静かに幕が下りる迄の時間……この間に舞台も客席も“待った”はしない。あるのは舞台と観客との生の交流だけだ。即ち舞台を踏んで観客との生の交流をじかに身体で経験することによって、一般的教養では得られない演劇的、演技的な効果、即ち、見ている人達に与える感興の実体を探り得ることが出来る。その上に立った大なり小なりの“自信”と云うものが、専門家として持たなければならない“魅力”となってくる

筈だ、そしてその“魅力”がラジオ、TVの演技となって還って来た時こそ、私達は“専門家”と云われるような気がする。さて私達は……あの広く孤独な舞台の上で、激しくスパークさせる言葉を、観て下さっている方々の胸の奥へ奥へと、しみとおらせようと思っているのです。」とあり、大村一平は「観客との生の交流をじかに身体で経験することによって」「専門家」としての「演技の持つ魅力」を増すためとしているが、「演劇本来の根本形式である舞台演劇から出発しなければならないことを身体で感じ始めた」ともあるように「演技の基本的な鍛錬の為」という理由が大きかったろう。

劇団CBCの舞台公演の台本は未見であり、本稿は今年度収集・整理してデジタル保存で

きたものの提示に止まる。ただ、民間放送草創期の資料は未整理ながらまだ関係者の手元にある程度の量があると予想されるので、次年度以降もそれらの放送資料の収集・整理とデジタル化を継続したいと考えている

補記

本稿はメディアと古典芸能研究会が頂いた、公益信託高橋信三記念放送文化振興基金助成（題目「昭和20～40年代における東海地域民間放送資料の収集・保存」）による成果の一部となります。記して感謝申し上げます。

また貴重な放送写真及びご教示を頂きました元劇団CBC劇団員長谷川敬氏と東海民放クラブ「音風景の会」会員の松谷敦氏・中野之也氏・成田徹男氏に心より感謝いたします。



写真1



写真2



写真3



写真4

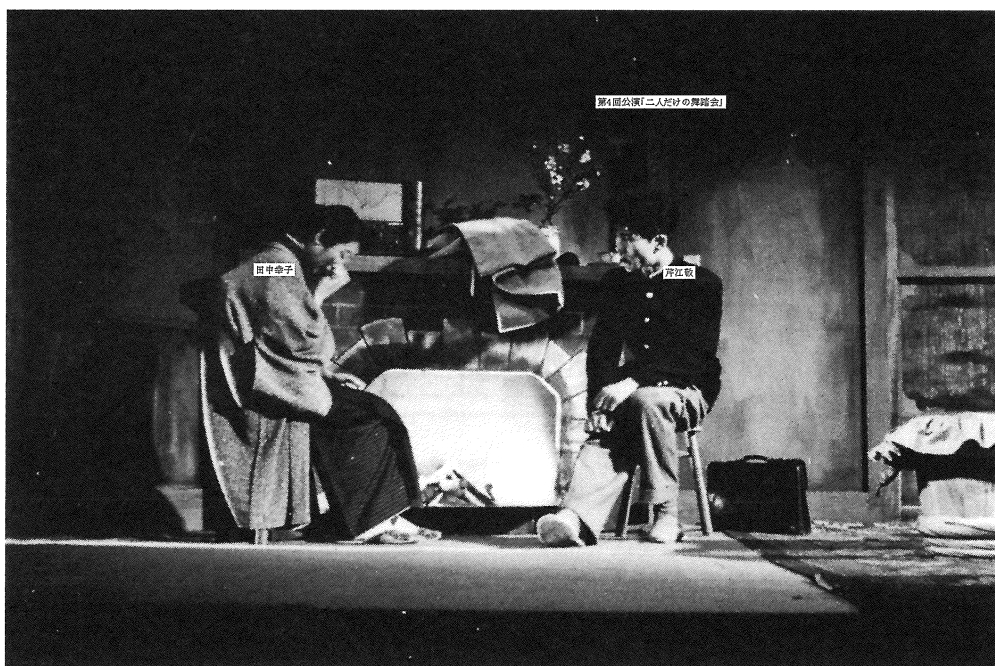


写真5



写真6

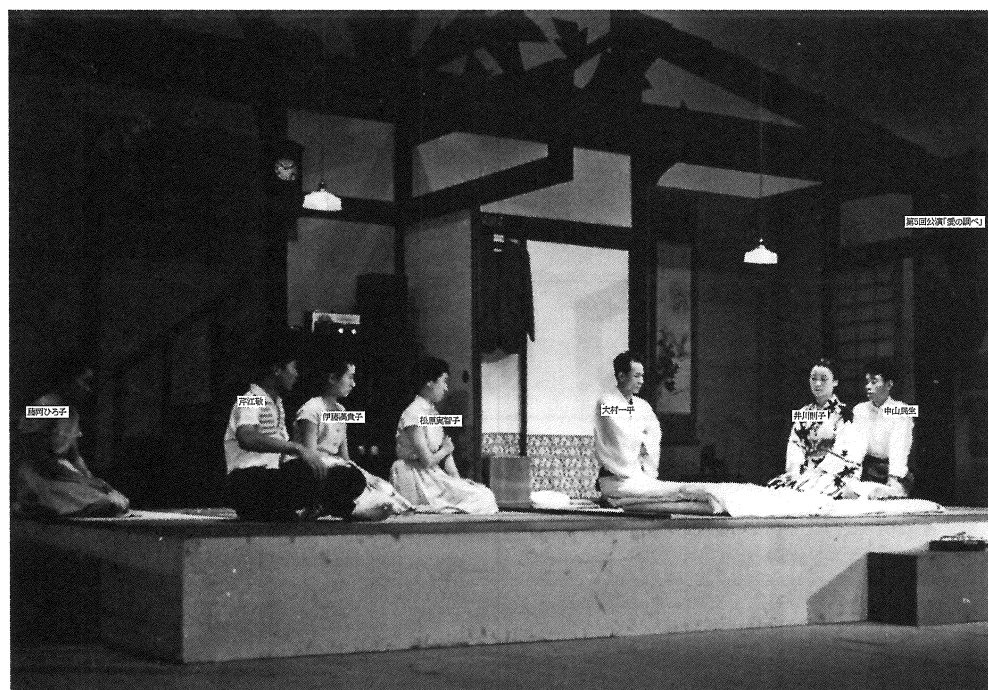


写真7



写真8

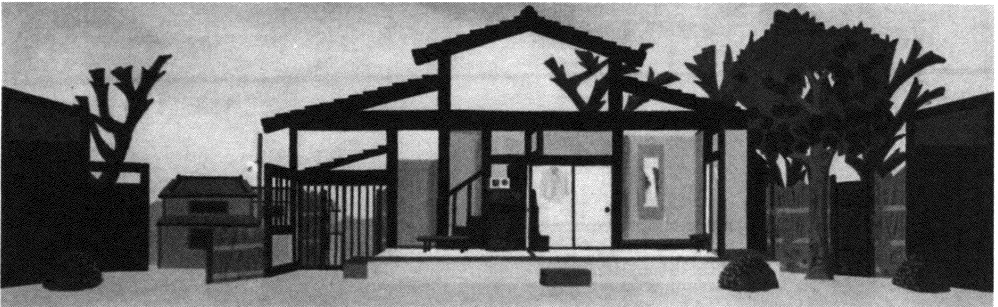


写真9 第5回公演「愛の調べ」舞台セット